



金胎寺にて (撮影：佐伯泰英事務所)

出版界の変化を思い、新年に誓う

佐伯通信

2017年1月(平成29)
第36号
発行 佐伯泰英事務所
担当/双葉社
禁・無断転載

謹賀新年

七十代の半ばに差し掛かり、新たな正月を迎えた。正直なところ「めでたくもありめでたくもなし」の中途半端な心境だ。
半生を振り返ると五十代後半まで、売れない物書き稼業が続いていた。それ以前は写真家だった。この写真家時代がバブルの時期と

重なる。たしかに雑誌の海外取材ではライター、写真家、編集者にコーディネーターの四人組なんて贅沢な陣容編成があったから、きつとあれがバブルの時期だったんだらうな。また出版社に写真を届けると、またメトロが走っている刻限なのに、名もなき写真家にもタクシー券が貰えた。東京郊外に住んでいたから、帰りのタクシーの中で「タクシー券が換金できたらな」と何度思ったことか。
私の出版バブルはその程度の記憶しかない。時代小説に転じてようやく日の目

佐伯泰英 / 近刊のお知らせ

4月
15日

《ハルキ文庫》
鎌倉河岸捕物控
30
「嫁入り」

※発売日は予定です。なお1月6日の発売予定は、一部地域を除きます。

3月
9日

《光文社文庫》
吉原裏同心抄
「旅立ちぬ」
〔佐伯通信 第37号が入ります。初版の初回出荷分のみ挟み込み〕

2月
10日

《文春文庫》
新・酔いどれ小籐次
7
「大晦り」
「酔いどれ小籐次(決定版)」
⑩「薫風鯉幟」 3月10日
⑪「偽小籐次」 4月7日

《祥伝社文庫》
新装改訂版
「完本 密命」
発売予定

1月12日(巻之十九)『意地 具足武者の怪』

2月15日(巻之二十)『宣告 雪中行』

3月15日(巻之二十一)『相剋 陸奥巴波』

4月12日(巻之二十二)『再生 恐山地吹雪』

空也も磐音も大活躍! 坂崎家の年末年始



(株)双葉社 文芸出版部
「空也十番勝負」担当 森 広太

あけましておめでとうございます。いよいよ始まりました「空也十番勝負」。「居眠り磐音」が完結してちょうど一年。累計2000万部を突破した壮大な物語は、嫡子・空也に受け継がれ、新たな青春の旅がスタートしました。

あ、ご挨拶が遅くなりましてすいません。このたび佐伯先生の編集担当を拝命しました森と申します。空也の武者修行をお手伝いさせていただきますので、よろしくお願ひ致します。

これから空也の旅はどうなるのか、本当に楽しみですよね。佐伯先生は、「16歳の空也の成長過程を描いたがゆえに、『居眠り磐音』の読者の方々にはかなり違った作風に映るであろう。筆者もまた新たな物語として作品に向き合った」と語っておりますから、様々な出会いや試練があり、予想もつかない展開になるかもしれません。

さて、父・磐音も空也の活躍に負けておりません。NHKドラマが1月2日の放送で完結し、昨年末からは全51巻が新帯で登場しております。全巻を並べると切り絵で磐音と仲間たちが過ごした大川界隈の風景が広がりますので、是非、全国の書店でチェックしてみてください。



近刊・作品情報はこちらでもチェックできます。

<http://www.saeki-bunko.jp> 佐伯泰英 ウェブサイト

2017年の「佐伯通信」は、佐伯泰英事務所が下記出版社の協力のもと発行いたします。
(株)双葉社、(株)光文社、(株)新潮社、(株)文藝春秋、(株)角川春樹事務所

を見た。となると急に忙しくなった。私の人生で一番仕事したのは六十代だ。質ではない量だ。ほぼ毎月新刊を出していたのだから「月刊佐伯」と呼ばれても不思議はなかった。

丁寧に時間をかけて一作一作仕上げていくか、と己に言い聞かせ、肝に銘じてみても、長年の習慣はそう簡単に改まりそうにもない。と居直ったら、年頭の誓いにもなにもならない。

出版社からのお知らせ 双葉文庫
空也十番勝負刊行記念!

居眠り磐音
江戸双紙

新帯全51巻分を
抽選で300名様に
プレゼント!

応募要項は「空也十番勝負 青春篇 声なき鯉(下)の帯裏を」覧ください。
応募締め切り・2月28日

武左衛門
「川柳テスト」
開催中

入選作品には図書カードを
プレゼント。応募は公式HP
にて受付中。
応募締め切り・1月20日

詳しくは居眠り磐音公式HP <http://inemuriiwane.jp/> をご覧ください。